



## 配置薬の見直しを行います

例年通り、救急の日に外来配置薬・病棟配置薬の見直しを行っております。各診療科・病棟におかれましては、在庫薬品が効率よく管理できるよう、種類・数量の見直し、不要な配置薬の削除にご協力ください。

## 投与期間制限解除のお知らせ

- ◎リットフーロカプセル 50 mg(一般名:リトシチニプトシル酸塩)〈円形脱毛症治療剤〉 ※臨時採用医薬品
- ◎コレチメント錠 9 mg(一般名:ブデソニド)〈潰瘍性大腸炎治療剤〉 ※院外専用医薬品

薬価収載後 1 年が経過するため、2024 年 9 月 1 日から投薬制限が解除され、長期投与可能となります。

## 「パルクス注ディスポ 10 μg」オーダー停止のお知らせ

プロスタグランジン E1 製剤「パルクス注ディスポ 10 μg」につきまして、諸般の事情により出荷が一時停止となりました。それに伴い、当院在庫もなくなったことから 8 月 27 日より処方オーダーを停止しました。

なお、本剤の代替薬として『アルプロスタジル注 10 μg シリンジ「TW」』の処方オーダーを 8 月 27 日から開始しました。

## 「カタプレス錠 75 μg」のオーダー一時停止のお知らせ

高血圧症治療剤「カタプレス錠 75 μg」につきまして、2024 年 7 月 31 日の院内通知でお知らせしましたように出荷停止となりました。

そのため、当院在庫も欠品となったことから、9 月 19 日より処方オーダーを一時停止しました。なお、本剤においては同効薬が無い場合、代替薬または代替治療での対応をお願いいたします。

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

## 『トリクロルメチアジド錠 2mg「JG」』オーダー停止のお知らせ

チアジド系降圧利尿剤『トリクロルメチアジド錠 2mg「JG」』につきまして、2023 年 12 月の DI Express でお知らせしましたとおり販売中止となりました。

この度、当院在庫が欠品となったことから、9 月 19 日より処方オーダーを停止しました。

なお、当該薬剤の代替薬として「フルイトラン錠 2mg」の処方オーダーを 9 月 19 日から開始しました。

## 禁忌追加等のお知らせ

※下線部追加、波線部改訂、点線部削除

- ◎カルブブロック錠 16 mg(一般名:アゼルニジピン)〈高血圧治療剤〉

【禁忌】 アゾール系抗真菌剤(経口剤、注射剤) (イトラコナゾール、ミコナゾール(経口剤、注射剤)、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ボリコナゾール)、ポサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤 (リトナビル含有製剤、ネルフィナビル、アタザナビル硫酸塩、ホスアンブレナビルカルシウム水和物、ダルナビル含有製剤)、コビススタット含有製剤、抗ウイルス剤 (ニルマトレルビル・リトナビル)、エンシトレルビル フマル酸を投与中の患者

## 適正使用のお願い

◎フィブリノゲン HT 静注用 1 g「JB」(一般名:乾燥人フィブリノゲン) <血漿分画製剤(血液凝固剤)> ※救急用医薬品  
「産科危機的出血に伴う後天性低フィブリノゲン血症に対するフィブリノゲンの補充」における使用につきましては、日本産科婦人科学会等が定める使用施設の条件を満たした医療機関においての使用をお願いしています。

本剤投与の適否や投与開始時期の判断にあたって、「産科危機的出血への対応指針 2022」の「フィブリノゲン製剤使用に際して」の項の参照をお願いしています。実際の投与においては、添付文書の注意書きにあるように、**本剤投与直前の血中フィブリノゲン値を必ず測定する**ようお願いいたします。

本剤は人の血液から製造される医薬品であり供給量に限りがあることから、適正使用及び安定供給等のための対応について厚生労働省より留意事項が示されています。本剤が既に使用されている「先天性低フィブリン血症」の患者への安定供給のため、有用性が確認されていない投与対象に該当する症例に使用されないようお願いいたします。

## 限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡いたします。

◎ソフラチュール貼付剤10 cm(一般名:フラジオマイシン硫酸塩) <化膿性疾患用剤>

◎デュロテップMTパッチ2.1 mg、4.2 mg(一般名:フェンタニル) <フェンタニル経皮吸収型製剤>

※4.2 mgは院外専用医薬品

◎ファーストシン静注用1g(一般名:セフォゾラン塩酸塩) <セフェム系抗生物質製剤>

◎フロセミド細粒4%「EMEC」(一般名:フロセミド) <利尿降圧剤>

出荷量: C. 出荷停止 製造販売業者の対応状況: ⑤供給停止

◎アネレム静注用 50 mg(一般名:レミマゾラムベシル酸塩) <全身麻酔剤>

出荷量: B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

◎インスリン アスパルトBS注ソロスターNR「サノフィ」

(一般名:インスリン アスパルト(遺伝子組換え)[インスリン アスパルト後続1]) <超速攻型インスリンアナログ注射液>

◎アピドラ注ソロスター(一般名:インスリン グルリジン(遺伝子組換え)) <超速攻型インスリンアナログ製剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷(自社の事情)

◎セフメタゾン静注用1 g(一般名:セフメタゾールナトリウム) <セファマイシン系抗生物質製剤>

◎1%ディプリバン注キット50 mL(一般名:プロポフォール) <全身麻酔・鎮静用剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷(他社品の影響)

【参考情報】日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』  
DI-EXPRESS (2022. 7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

## 限定出荷等解除のお知らせ

◎コントミン糖衣錠 12.5、25、50 mg(一般名:クロルプロマジン塩酸塩) <精神神経安定剤>

2024年9月3日より限定出荷解除

## 貼付剤の取り扱いについて

貼付剤の貼り忘れや剥がし忘れにはご注意ください。また、意図せず剥がれて衣類に付着したり、シャワー室で脱落する場合があります。貼付剤には医療用麻薬に分類されるものもありますので、管理には十分気を付けてください。

## 医薬品・医療機器等安全性情報 No.412

### ★地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方について

高齢化の進展に伴い、加齢による生理的な変化や複数の併存疾患を治療するための医薬品の多剤服用等によって、安全性の問題が生じやすい状況があることから、厚生労働省では、平成29年4月に「高齢者医薬品適正使用検討会」（以下、「検討会」という。）を設置し、高齢者の薬物療法における安全性確保に必要な事項の調査・検討を進めている。

今般、検討会での議論を経て、「病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」及び「高齢者の医薬品適正使用の指針 別表3・別表4」を改訂し、新たに「地域における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方」（令和6年7月22日付け医薬安発0722第1号厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知）を取りまとめた。

本稿では、検討会のこれまでの取組と、地域においてポリファーマシー対策に取り組んでいただくための業務手順書について紹介する。

### ★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介します。

#### ◎エポプロステノールナトリウム(商品名:エポプロステノール静注用0.5 mg、1.5 mg「ヤンセン」)

＜肺動脈性肺高血圧症治療剤＞※臨時採用医薬品

##### 【重大な副作用】腹水

腹水が認められた場合には、本剤や他の要因（右心不全、肝障害等）に起因する可能性などを考慮し原因検索の上、本剤に起因すると疑われる場合は本剤を減量又は中止するなど適切な処置を行うこと。

※当該症例 3例（うち死亡0例）

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で、因果関係が否定出来ないもの。

#### ◎①ニボルマブ(遺伝子組換え)(商品名:オプジーブ点滴静注 240 mg)＜抗悪性腫瘍剤＞

#### ②イピリムマブ(遺伝子組換え)(商品名:ヤーボイ点滴静注液 50 mg)＜抗悪性腫瘍剤＞

##### 【重大な副作用】脳炎、髄膜炎、脊髄炎

○下線部追加改訂

※当該症例 ①国内 1例（うち死亡0例）

海外 16例（うち死亡0例）

②国内 1例（うち死亡0例）

海外 10例（うち死亡0例）

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例のうち、症例票内に脊髄MRI検査結果に関する情報があり、かつ髄液検査、血液培養又はPCR検査に関する情報がある症例で因果関係が否定できない症例

#### ◎チラブルチニブ塩酸塩(商品名:ベレキシブル錠 80 mg)＜抗悪性腫瘍剤＞※臨時採用医薬品

##### 【重大な副作用】重度の皮膚障害

○下線部追加改訂

中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN)、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)、多形紅斑、中毒性皮疹等の重度の皮膚障害があらわれることがある。

※当該症例＜中毒性表皮壊死融解症＞ 4例（うち死亡0例）

＜皮膚粘膜眼症候群＞ 10例（うち死亡0例）

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で因果関係が否定できないもの。

# 医薬品・医療機器等安全性情報 No.412

## ◎ガドブトロール(商品名:ガドピスト静注 1.0 mol/L シリンジ 5 mL、7.5 mL) <環状型非イオン性 MRI 用造影剤>

【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー ○下線部追加改訂

ショック，アナフィラキシー（血圧低下，呼吸困難，意識消失，咽・喉頭浮腫，顔面浮腫，呼吸停止，心停止等）があらわれることがある。

急性呼吸窮迫症候群，肺水腫

急速に進行する呼吸困難，低酸素血症，両側性びまん性肺浸潤影等の胸部 X 線異常等が認められた場合には，必要に応じ適切な処置を行うこと。

※当該症例<急性呼吸窮迫症候群> 6 例（うち死亡 0 例）

＜肺水腫＞ 11 例（うち死亡 0 例）

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例のうち，副作用名（PT）「急性呼吸窮迫症候群」，「急性肺水腫」，「肺水腫」及び「非心原性肺水腫」として報告され，かつ胸部画像検査所見の記載がある症例で因果関係が否定出来ないもの。なお，ショック・アナフィラキシーに伴う肺水腫については，添付文書において注意喚起済みの既知の事象であるため，医薬品と事象との因果関係が否定できない症例から除外した。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) 又は厚生労働省ホームページ(<https://www.mhlw.go.jp/>)から確認可能。

☆Drug Safety Update No. 329 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容						
バルブ <sup>®</sup> ロ酸ナトリウム（セレカ <sup>®</sup> R錠、デパケン <sup>®</sup> R錠、バルブ <sup>®</sup> ロ酸Na徐放顆粒「フジナガ <sup>®</sup> 」、バルブ <sup>®</sup> ロ酸ナトリウムシロップ「DSP」、バルブ <sup>®</sup> ロ酸ナトリウム徐放錠A「トール」） ※デパケン <sup>®</sup> Rは院外専用医薬品	※臨床使用に基づく情報：追記 本剤との因果関係は明らかではないが、北欧で実施された観察研究において、受胎前の3ヵ月間に本剤に曝露した父親の児は、ラモトリギン又はレベチプラムに曝露した父親の児と比較して、神経発達症リスクの増加を示唆する報告がある（調整ハザード比1.50 [95%信頼区間：1.09-2.07]）。一方で、てんかんを有する父親を対象とした海外で実施された観察研究において、受胎前の120日間に本剤に曝露した父親の児は、本剤に曝露していない父親の児と比較して、統計学的に有意な神経発達症リスクの増加は認められないとする報告もある。						
ミロガ <sup>®</sup> バリンベシル酸塩（タージェ錠）	※重大な副作用：追記 腎機能障害						
アゼルニジピノン（カルブロック錠）	※禁忌：一部改訂 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ホリコナゾール、ホサコゾール、HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ネルフイビル、アタナビル、ホスアンブレナビル、ダルナビル含有製剤）、コピシスタット含有製剤を投与中の患者  ※併用禁忌：一部改訂						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以下のアゾール系抗真菌剤（イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ホリコナゾール、ホサコゾール）</td> <td>アゼルニジピノン 8 mg とイトラコナゾール 50 mg<sup>注</sup>との併用に より本剤の AUC が 2.8 倍に上昇することが報告されている。</td> <td>これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	以下のアゾール系抗真菌剤（イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ホリコナゾール、ホサコゾール）	アゼルニジピノン 8 mg とイトラコナゾール 50 mg <sup>注</sup> との併用に より本剤の AUC が 2.8 倍に上昇することが報告されている。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
以下のアゾール系抗真菌剤（イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ホリコナゾール、ホサコゾール）	アゼルニジピノン 8 mg とイトラコナゾール 50 mg <sup>注</sup> との併用に より本剤の AUC が 2.8 倍に上昇することが報告されている。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。					
	<u>注）低用量のイトラコナゾールとの併用試験結果に基づく。イトラコナゾールの用量は、イトラコナゾールの電子添文を参照すること。</u>						

	<p>※併用注意：追記</p> <table border="1" data-bbox="427 114 1489 331"> <thead> <tr> <th data-bbox="427 114 778 152">薬剤名等</th> <th data-bbox="778 114 1129 152">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1129 114 1489 152">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="427 152 778 331">アゾール系抗真菌剤（併用禁忌の薬剤を除く）（ホスラブコナゾール等）</td> <td data-bbox="778 152 1129 331">本剤の作用が増強されるおそれがある。必要があれば本剤を減量又は中止、あるいはこれらの薬剤の投与を中止すること。</td> <td data-bbox="1129 152 1489 331">これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アゾール系抗真菌剤（併用禁忌の薬剤を除く）（ホスラブコナゾール等）	本剤の作用が増強されるおそれがある。必要があれば本剤を減量又は中止、あるいはこれらの薬剤の投与を中止すること。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子							
アゾール系抗真菌剤（併用禁忌の薬剤を除く）（ホスラブコナゾール等）	本剤の作用が増強されるおそれがある。必要があれば本剤を減量又は中止、あるいはこれらの薬剤の投与を中止すること。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。							
<p>パルマフェート（パルメチア錠、パルメチア XR 錠） ※パルメチア XR 錠は院外専用医薬品</p>	<p>※重大な副作用：追記 肝機能障害、黄疸</p>								
<p>ボキサゾール（ノキサフィル錠）</p>	<p>※禁忌：一部改訂 エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、メチルエルゴメトリン、エルゴメトリン、シンバスタチン、アトルバスタチン、ヒモジド、キジソン、ベネクラクス [再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期]、スプレキント、フィネロン、アゼルニジピン、オルメサルタンメトキシミル・アゼルニジピン、ルラシドン塩酸塩、ブロンセリン、トリアゾラム、リボキサパンを投与中の患者</p> <p>※併用禁忌：追記</p> <table border="1" data-bbox="427 772 1489 958"> <thead> <tr> <th data-bbox="427 772 778 810">薬剤名等</th> <th data-bbox="778 772 1129 810">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1129 772 1489 810">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="427 810 778 958">アゼルニジピン、オルメサルタンメトキシミル・アゼルニジピン</td> <td data-bbox="778 810 1129 958">アゼルニジピンの作用を増強させるおそれがある。</td> <td data-bbox="1129 810 1489 958">ボキサゾールの併用により、CYP3A4 が阻害され、これらの薬剤の血漿中濃度が上昇すると予測される。</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アゼルニジピン、オルメサルタンメトキシミル・アゼルニジピン	アゼルニジピンの作用を増強させるおそれがある。	ボキサゾールの併用により、CYP3A4 が阻害され、これらの薬剤の血漿中濃度が上昇すると予測される。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子							
アゼルニジピン、オルメサルタンメトキシミル・アゼルニジピン	アゼルニジピンの作用を増強させるおそれがある。	ボキサゾールの併用により、CYP3A4 が阻害され、これらの薬剤の血漿中濃度が上昇すると予測される。							
<p>ホスラブコナゾール L-リシンエタノール付加物（ネリンカプセル）</p>	<p>※併用注意：一部改訂</p> <table border="1" data-bbox="427 996 1489 1182"> <thead> <tr> <th data-bbox="427 996 778 1034">薬剤名等</th> <th data-bbox="778 996 1129 1034">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1129 996 1489 1034">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="427 1034 778 1182">CYP3A により主に代謝される薬剤（シンバスタチン、ミタゾラム、アゼルニジピン等）</td> <td data-bbox="778 1034 1129 1182">これらの薬剤の血中濃度を上昇させる可能性がある。</td> <td data-bbox="1129 1034 1489 1182">ラブコナゾールの CYP3A に対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	CYP3A により主に代謝される薬剤（シンバスタチン、ミタゾラム、アゼルニジピン等）	これらの薬剤の血中濃度を上昇させる可能性がある。	ラブコナゾールの CYP3A に対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子							
CYP3A により主に代謝される薬剤（シンバスタチン、ミタゾラム、アゼルニジピン等）	これらの薬剤の血中濃度を上昇させる可能性がある。	ラブコナゾールの CYP3A に対する阻害作用により、これらの薬剤の代謝が阻害される。							
<p>イジキサール（ヒジパーク注）</p>	<p>※重大な副作用：追記 （効能共通） 急性汎発性発疹性膿疱症</p>								

&lt;別紙1&gt;新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計6品目)

2024年10月3日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	オンボ <sup>®</sup> 点滴静注 239	静注	300mg	劇	189,785.0	日本イーライリリ	Mirikizumab(Genetical Recombination) 潰瘍性大腸炎治療剤(ヒト化抗ヒL-23p19ε/クローナル抗体製剤) ★潰瘍性大腸炎治療剤としては、世界初の作用機序となるヒト化抗ヒL-23p19ε/クローナル製剤である。 ★寛解導入療法開始12週時点において、十分な治療効果が認められない場合は寛解導入療法を継続し、初回投与から12週後、16週後及び20週後に点滴静注製剤を投与することが出来る。 ★維持療法中に効果が減弱した場合、点滴静注製剤1回300mgを4週間隔で3回投与する再導入療法が可能である。 ★生物学的製剤またはJAK阻害薬に対する治療反応性不良例においても有効性が確認されている。 ※臨時採用から常備へ ※臨時採用医薬品としてオンボ <sup>®</sup> 皮下注100mgオートインジェクターの採用あり  【発売:2023/06/21】
1	ロケルマ懸濁用散分包 219	懸濁用散剤	5g	-	1,024.3	アストラゼネカ	Sodium Zirconium Cyclosilicate Hydrate 高カリウム血症改善剤 ★本剤は高カリウム血症改善若としてはまったく新しい成分で、カリウムイオンに対する選択性が高いのが、特徴である。マグネシウム、カルシウムなど他の吸着薬では非特異的に吸着されていたイオンへの影響が少ない。 ★非ポリマー系であることから消化管内で膨潤しないため便秘の頻度は少なく、同効品で懸念される消化管穿孔の報告はない。服用回数、服用量が少なく済むことからアドヒアランスの改善も期待出来る。 ※救急用、院外専用から常備へ  【発売:2020/05/20】
1	ヒフデュー配合皮下注 639	皮下注	エフガルチキモ <sup>®</sup> アルファ (遺伝子組換え) 1008mg ホルヒアルロニター <sup>®</sup> サ アルファ(遺伝子組換え) 11200単位	劇	604,569.0	アルジェニクスジャパン	Efgartigimod Alfa(Genetical Recombination) Vorhyaluronidase Alfa(Genetical Recombination) 重症筋無力症治療剤(抗FcRn抗体フラグメント・ヒアルロン酸分解酵素配合製剤) ★添付文書上の効能効果は、全身型重症筋無力症(ステロイド剤またはステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限り)であり、経口薬による治療でコントロール出来ない際、次の一手として処方が可能。 ★IVであるウイフガード <sup>®</sup> 対し有効性は非劣勢が確認されている。また、固定用量・投与時間の大幅な短縮・自己投与可能といった観点から、投薬に関わる医療スタッフ及び患者の負担軽減が期待出来る。 ★体重40kg~80kgの場合、ウイフガード <sup>®</sup> 薬価は3,110,336円/サイクルに対し、ヒフデューでは2,418,276円/サイクルである。本年報告されたカナダにおけるEfgartigimodをIVと比較した費用対効果データでも、ベネフィットが大きく低コストであった。  【発売:2024/04/17】
1	ベイフォータス筋注シリンジ	筋注	50mg	-	459,147.0	アストラゼネカ	Nirsevimab (Genetical Recombination) 抗RSウイルスヒトクローナル抗体製剤 ★重症化リスクの高い早産時、特定の疾患を有する申請時、乳幼児におけるRSウイルス感染による下気道疾患の発症抑制目的で使用 ★同様の効果を示す薬剤にシナジス <sup>®</sup> があるが、1シーズンにシナジスは6~8回の接種が必要があるところ、ベイフォータスであれば1回の接種で1シーズンを超える期間カバーするほど効果が持続する。 ★RSウイルス感染による下気道疾患の発症抑制効果がシナジスよりも高く、1シーズンあたりの費用がシナジスより安価である。 ※緊急使用医薬品として使用歴あり  【発売:2024/05/22】
1	ベプリジル塩酸塩錠「TE」 212	錠	50mg	劇	20.3	トーアエイコー	Bepidil Hydrochloride Hydrate 頻脈性不整脈・狭心症治療剤 ★使用数量は多くはないものの、先発品に対しておむね半額の値段となり経済的に有益であると考えられる。 【発売:2024/02/05】
1	カナグロOD錠 396	口腔内崩壊錠	100mg	-	158.5	田辺三菱製薬	Canagliflozin Hydrate SGLT2阻害剤 ★SGLT2阻害剤の中で唯一となるOD錠である。少量の水で容易に崩壊することから、口腔内の唾液等の水分により速やかに溶け、飲みやすくなる剤形であり、場所にとらわれることなく水なしでも水ありでも服用できる。また、合併症の管理を含めて多剤併用をしている2型糖尿病の患者において、1剤でもOD錠になることで、服用負担の軽減が期待出来る。  【発売:2024/05/22】

## ④自由診療医薬品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
4	プレベナー20 633	水性懸濁注	-	-	-	ファイザー	Pneumococcal 20-valent Conjugate Vaccine adsorbed(Mutated diphtheria CRM197 conjugate) 沈降20価肺炎球菌ワクチン結合型ワクチン ★小児における肺炎球菌(血清型1, 3, 4, 5, 6A, 6B, 7F, 8, 9V, 10A, 11A, 12F, 14, 15B, 18C, 19A, 19F, 22F, 23F及び33F)による侵襲性感染症の予防 ★プレベナー20はプレベナー13に含まれている13種に加え、新たに7種(8, 10A, 11A, 12F, 15B, 22F, 33F)の血清型が追加されており、より広範な血清型をカバーする。 ★2024/10/1より公費負担のワクチンはプレベナー13からプレベナー20に切り替わる。  【発売:2024/08/30】

## ⑥臨時採用医薬品(合計8品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	ノキサフィル点滴静注 617	点滴静注	300mg	劇	27,079.0	MSD	Posaconazole 深在性真菌症治療剤 ★骨髄異形成症候群に対して臍帯血移植後、リンパ増殖性疾患を発症し加療中の方。 ★交互の免疫抑制状態であり、アスペルギルスを含めた真菌感染症の予防・治療を行う必要があるが、消化管出血のため内服ではなく静注で投与を行う必要がある。 ★アスペルギルスを含めた真菌感染症の予防効果が期待される。 ※常備医薬品として同成分薬:ノキサフィル錠100mgの採用あり  【発売:2020/07/21】
6	ラパリムス顆粒0.2% 429	顆粒剤	2mg/g	劇	3,010.2	ノーベルファーマ	Sirolimus mTOR阻害剤 ★難治性脈管奇形であり、シロリムスの適応があると判断。 ★臨時採用医薬品としてラパリムス錠1mgの採用があるが、本剤は小児にも服用が容易で体重に応じた投与量の調節が可能である。 ★腫瘍サイズの縮小および疼痛の緩和が期待。 ※臨時採用医薬品としてラパリムス錠1mgの採用あり ※緊急使用医薬品として使用歴あり  【発売:2024/07/08】
6	ルマケラス錠 429	錠	120mg	劇	4,204.3	アムジエン	Sotorasib 抗悪性腫瘍剤(KRAS G12C阻害剤) ★KRAS G12Cが陽性を確認。現行治療で加療しているが、腫瘍マーカーは上昇傾向であり、ルマケラスを使用する方針 ★KRAS G12Cの発現は比較的まれではあるがただこの1年間で本患者で3例目の使用。 ★腫瘍の縮小による患者のADL改善や生存期間の延長。 ※緊急使用医薬品として使用歴あり  【発売:2022/04/20】
6	カルケンスカプセル 429	cap	100mg	劇	12,921.9	アストラゼネカ	Acalabrutinib 抗悪性腫瘍剤(ブルトン型チロシンキナーゼ阻害剤) ★慢性リンパ性白血病に対して経過観察中であった。 ★慢性リンパ性白血病の病状が進行し治療適応となったが、当院常備薬に投与が推奨される薬剤がない。 ★慢性リンパ性白血病に対する治療薬として国内外のガイドラインで推奨されており、病状の改善が期待される。 ※緊急使用医薬品として使用歴あり  【発売:2021/04/21】
6	エヌジェンラ皮下注ペン 241	皮下注	60mg	-	107,444.0	ファイザー	Somatrogon(genetical recombination) 長時間作用型遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤 ★成長ホルモン分泌不全性低身長で成長ホルモン自己注射で治療中。現在 エヌジェンラ60mgを緊急使用で使用中。 ★週1回の注射のため患者と家族の負担が軽減する。 ※緊急使用医薬品として使用歴あり ※臨時採用医薬品としてエヌジェンラ皮下注24mgペンの採用あり  【発売:2022/04/27】
6	ハリジック皮下注 399	皮下注	20mg	劇	65,468.0	BioMarin Pharmaceutical Japan	Pegvaliase(Genetical Recombination) フェニルケトン尿症治療剤 ★フェニルケトン尿症でハリジックの自己注射を施行中 標準投与量の1日20mgまで増量できている。 緊急購入でハリジック20mgの自己注射を1日1回施行している。 ★蛋白摂取制限が必要なくなるため患者の食生活が改善する。 ※緊急使用医薬品として使用歴あり ※臨時採用医薬品としてハリジック皮下注2.5mg、10mgの採用あり  【発売:2023/05/24】

6	トレプロスト吸入液 219	吸入液 剤	1.74mg	劇	18,914.2	持田製薬	Treprostinil 肺動脈性肺高血圧症治療薬(プロスタグランジンI2誘導体制剤) ★肺動脈性肺高血圧症に対して、病態改善のために本剤を含む肺血管拡張薬の併用(upfront combination therapy)を要する。 ★常備薬に同等の薬効を有する薬剤が存在しない。 ★肺高血圧の改善、症状の改善。 ※緊急使用医薬品として使用歴あり  【発売:2023/05/16】
6	フェトロージャ点滴静注用 612	点滴静 注	1g	-	20,203.0	塩野義製薬	Cefiderocol Tosilate Sulfate Hydrate シテロフォアセファロスポリン系抗生物質製剤 ★カルバペネム耐性アシネトバクター・ハウマニ(CRAB)、第3世代セファロスポリン耐性腸内細菌目細菌(3GCRE)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)、カルバペネム耐性緑膿菌(CRPA)については治療に難渋するケースが多く開発が望まれていた。 ★カルバペネム耐性のグラム陰性桿菌やアシネトバクターについては鉄代謝を利用することで効率的に細胞内に移行し従来の薬剤よりも高い抗菌活性が得られる。 【発売:2023/12/20】

⑦院外専用医薬品(合計13品目)

採用 区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	マンジャロ皮下注アテオス 249	皮下注	7.5mg	劇	5,772.0	日本イーライリリー	Tirzepatide 2型糖尿病治療剤(持続性GIP/GLP-1受容体作動薬) ★現在マンジャロ2.5mg,5mgの採用はある。効果不十分の場合は2.5mgずつ増量可能であり、最大15mgまで増量可能とされている。 ★類似薬のオセンピックと比較して減量の効果が高いことが報告されており、肥満を伴う2型糖尿病患者の有用な治療と考えられる。 ※常備医薬品としてマンジャロ皮下注2.5mg、5mgアテオスの採用あり  【発売:2023/06/12】
			10mg		7,696.0		
			12.5mg		9,620.0		
			15mg		11,544.0		
7	オンボ-皮下注オートインジェクター 239	皮下注	100mg	劇	125,123.0	日本イーライリリー	Mirikizumab(Genetical Recombination) 潰瘍性大腸炎治療剤(ヒト化抗ヒL-23p19E/クローナル抗体製剤) ★オンボ-点滴静注300mgにて寛解導入に至った際の寛解維持治療で必要と考える。 ★40週間の維持療法試験において、有効性が確認されており、安全性についてもプラセボ群と同程度の有害事象の発現率であった。 ★4週間隔での投与となり、投与スケジュールがわかりやすい。 ★オートインジェクターの投与時間は1本あたり薬10秒のため、2本投与しても投与時間は30秒もかからず、投与時間が短くて済む。 ★在宅自己注射が可能となり、患者さんの通院負担の軽減につながることを期待されている。 ※臨時採用から院外専用医薬品へ ※臨時採用医薬品としてオンボ-点滴静注300mgの採用あり  【発売:2023/06/21】
7	ターゼナカプセル 429	cap	0.25mg	劇	9,576.0	ファイザー	Talazoparib Tosilate 抗悪性腫瘍剤(ホリアダニン5ニリン酸リボースホリマーゼ阻害剤) ★同種同効薬のオラパリブとの違い ・催吐リスクが低いリスク(オラパリブは中リスク)であるなど、AEプロファイルに違いがある。 ・対象症例はアントサイクリン系抗悪性腫瘍剤及び/又はチキサン系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法歴のある患者との記載であり、いずれかの化学療法のみ投与の患者にも使用可能である。 ・3段階の減量が可能であり、用量調整により投与継続が容易である。  【発売:2024/04/23】
7			1mg		21,547.0		
7	トルカブ錠 429	錠	200mg	劇	11,244.3	アストラゼネカ	Capivasertib 抗悪性腫瘍剤(AKT阻害剤) ★NCCNガイドライン乳癌2024年第2版において、HR陽性HER2陰性の再発手術不能又はIV期の乳癌に対して、PIK3CA、AKT1変異またはPTEN異常が認められる場合、トルカブとフルベストラントとの併用がカテゴリー1で推奨されている。 アロマターゼ阻害剤(AI)を含む内分泌療法後に増悪した、ER陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象とした国際共同第Ⅲ相試験(CAPtello-291試験)において、主要評価項目であるPIK3CA、AKT1、PTEN遺伝子変異が1つ以上認められる集団の無増悪生存率期間にはプラセボ+フルベストラント群に比べトルカブ+フルベストラント群で有意に延長し、優越性が検証された。 【発売:2024/05/22】

7	エクムト配合錠 396	錠	HD ビルダグリブチン 50mg 外ホルミン塩酸塩 500mg	劇	50.2	ノバルティス	Vildagliptin Metformin Hydrochloride 2型糖尿病治療薬(選択的DPP-4阻害薬/ビグアナイド系薬配合剤) ★DPP-4阻害薬と外ホルミンは糖尿病治療ガイドにおいて、非肥満、肥満ともに推奨されている組み合わせであり、国内でエクムト配合錠は外ホルミン含有配合剤の中で最も頻用されている製剤である。 ★VERIFY試験(Lancet2019)において、ビルダグリブチン、外ホルミンの組み合わせによる早期治療において血糖マネジメント維持効果が証明された。 ★VERIFY試験サブ解析ではβ細胞機能維持効果が示唆された。 ★経済性はビルダグリブチンと外ホルミン併用より配合剤を使用することで、錠数・薬価の軽減が出来る。  【発売:2015/11/26】
7			LD ビルダグリブチン 50mg 外ホルミン塩酸塩 250mg		51.0	ノバルティス	
7	アレジオン眼薬クリーム0.5% 131	クリーム剤	2g/本	-	1,686.7	参天製薬	Epinastine Hydrochloride 持続性・経眼アレルギー性結膜炎治療剤 ★これまでアレルギー性結膜炎の治療薬は点眼薬のみであり、開眼や点眼が困難な身体状況の患者には使用が困難であった。また、従来の眼軟膏はステロイド製剤であり、眼圧上昇などのステロイド作用による副作用が懸念された。本剤は抗アレルギー剤としては初の眼軟膏製剤であり、これらの問題点について対応出来る。  【発売:2024/05/22】
7	レベトールカプセル	cap	200mg	劇	281.1	MSD	Ribavirin 抗ウイルス剤 ★オンホー点滴静注300mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更  【発売:2000/05/11】
7	ハルヒティオ配合錠EX「サント」 214	錠	バルサルタン 80mg ヒドロクロチアジド 12.5mg	-	22.3	サント	Valsartan Hydrochlorothiazide 選択的AT1受容体ブロッカー/利尿薬配合剤 ★ロケルマ懸濁用散分包5g採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更  【発売:2016年 6月17日】
7	ベタフェロン皮下注 639	皮下注	960万国際単位	劇	7,319.0	ハイエル薬品	Interferon Beta-1b(genetical recombination) 遺伝子組換え型インターフェロンβ-1b製剤 ★ヒパデュ配合皮下注採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更  【発売:2000/11/21】

⑩放射性医薬品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
10	アキソミン静注 430	静注	フルンクロビン( <sup>18</sup> F) 185MBq	-	344,867.0	日本マジッククス	Fluciclovine( <sup>18</sup> F) 放射性薬品・悪性腫瘍診断薬 ★初発の悪性神経膠腫(グリオーマ)が疑われる患者に対して、腫瘍摘出範囲の決定の補助を目的として、腫瘍の可視化に用いる。 ★初発の悪性神経膠腫(グリオーマ)が疑われる患者に対して、腫瘍摘出範囲の決定の補助を目的として、実施されるが、現状当院において同種検査は実施出来る体制になく、代替検査として他施設のメチオンPET検査に依頼している状況にある。PET-CTが当院でも導入された事にあわせ、大学病院として対応できる検査体制を構築する視点からも導入が必要。  【発売:2024/07/02】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	ミルラト 233	細粒	-	-	ベイフォース筋注シリンジ採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。  
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計11品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	ヘブリコール錠	錠	50mg	劇	ヘブリジル塩酸塩錠50mg「TE」採用の場合、削除
1	カナゲル錠	錠	100mg	-	カナゲルOD錠100mg採用の場合、削除
1	レベトールカプセル 625	cap	200mg	劇	オンホー点滴静注300mg採用の場合、区分7へ移行

1	ハルビティオ配合錠EX「サント」 214	錠	バルサルタン 80mg ヒドロクロロチアジド 12.5mg	-	ロケルマ懸濁用散分包5g採用の場合、区分7へ移行
1	ベタフェロン皮下注 639	皮下注	960万国際単位	劇	ヒフェデュラ配合皮下注採用の場合、区分7へ移行
4	プレベナー13	水性懸濁注	-	劇	プレベナー20採用の場合、削除
11	エムアリシティ点滴静注用	点滴静注	300mg 400mg	劇	※常備医薬品(区分①)として採用済
11	タルセバ錠	錠	25mg	劇	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
11	パリンジック皮下注	皮下注	20mg	劇	※臨時採用医薬品(区分⑥)として申請あり
11	ルマケラス錠	錠	120mg	劇	※臨時採用医薬品(区分⑥)として申請あり

#### 【4】報告事項

##### 1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

##### ①緊急使用医薬品(合計16品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	ヘイフォータス筋注シリンジ 625	シリンジ	50mg	-	459,147.0	アストラゼネカ	※常備医薬品(区分①)にて申請あり
11	ルマケラス錠 429	錠	120mg	劇	4,204.3	アムジエン	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	エヌジェンラ皮下注ペン 241	皮下注	60mg	-	107,444.0	ファイザー	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	ラバリムス顆粒0.2% 429	顆粒剤	2mg/g	劇	3,010.2	ノーベルファーマ	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	トブレロスト吸入液 219	吸入液剤	1.74mg	劇	18,914.2	持田製薬	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	カルケンスカプセル 429	cap	100mg	劇	12,921.9	アストラゼネカ	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	ランプレンカプセル 623	cap	50mg	-	176.2	サント	Clofazimine 抗ハンセン病剤 ★ハンセン病に対してレクチゾール、リファンピシム、ランプレンの3剤併用療法を行うため。 【発売:1996/12/9】
11	ビハンセカプセル 117	cap	30mg	劇	731.4	塩野義製薬	Lisdexamfetamine Mesilate 中枢神経刺激剤 ★ADHD症状(特に衝動性)のコントロールのために使用。ビハンセを使用したいが、当院常備薬として採用されていない。 ★不注意、多動、衝動症の軽減。 ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2019/12/03】
11	スマイラフ錠 399	錠	50mg 100mg	劇	1,315.3 2,575.8	アステラス製薬	Peficitinib Hydrobromide 関節リウマチ治療薬(ヤヌスキナーゼ阻害剤) ★関節リウマチにスマイラフにて加療。 当院に採用が無く、また転院先でも処方方が困難とのこと。 ★JAK阻害剤にて症状は落ち着いている。 ★RAの低疾患活動性の維持。 ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2019/07/10】
11	レギュニール HCa 2.5腹膜透析液 UVツインパック 342	腹膜透析液	1.5L	-	1,277.0	バクスター	腹膜透析用剤 ★1.5%だと除水不良のため。 ★以前より2.5%のため、現状維持が期待出来る。 【発売:2014/02/14】
11	ミッドヘリックL250腹膜透析液 2L 342	腹膜透析液	2L	-	1,363.0	テルモ	腹膜透析用剤 ★当院常備薬はミッドヘリック低濃度のものしかなく、それでは透析・除水不良となるため。前医処方と同規格のものを使用。 ★効率的な透析を目的に使用。 【発売:2000/07/07】

11	ビベスピエロソフィア28吸入 225	吸入剤	グリコピロニウム臭 化物9.0μg ホルモテロール酸塩 水和物5.0μg	-	1,486.8	アストラゼネカ	Glycopyrronium Bromide Formoterol Fumarate Hydrate COPD治療配合剤 ★COPD増悪で当院転院となり、CO2貯留著明であったことから、挿管管理となった。 現在は状態改善しているが、背景にCOPDは重症であり、気管切開を行い、人工呼吸 器管理を継続している。 ★人工呼吸器管理中であり、LAMA/LABA吸入薬でビベスピエロソフィアのみが吸入可 能。 ★COPDの増悪予防と呼吸状態の安定化。 【発売:2019/09/04】
11	エビリファイ錠 117	錠	12mg	劇	139.0	大塚製薬	Aripiprazole 抗精神病薬 ★エビリファイ6mgだと錠数が増加し、より服薬への抵抗感強まる。 ★より確実な服薬が期待出来る。 【発売:2007/06/27】
11	サフネロー 399	点滴静 注	300mg	劇	96,068.0	アストラゼネカ	Anifrolumab(Genetical Recombination) 全身性エリテマトーデス治療薬(ヒト抗I型インターフェロン受容体1モノクローナル抗体) ★SLE患者、当院常備薬を使用しても十分な効果を得られておらず、本薬剤の使用 が望ましい。 ★SLEの病勢改善が期待出来る。 ★300mgを4週ごとに静脈内に投与する。 【発売:2021/11/25】
11	ビキセオス配合静注用 429	静注	ダウナルビン44mg シタラビン100mg	劇	877,877.0	日本新薬	Daunorubicin Hydrochloride, Cytarabine 抗悪性腫瘍剤 ★高リスクの急性骨髄性白血病に使用。 ★ダウナルビン及びシタラビンのリゾソーム製剤で、高リスクの急性骨髄性白血病に対して 従来の化学療法と比べ有意に生存期間の延長が得られている。 ★高リスクの急性骨髄性白血病に対してPFSやOSの改善が期待される。 【発売:2024/05/22】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

## 2) 販売中止に伴う代替薬の採用について

販売中止薬	代替薬
イリノテカン点滴静注液40mg「SUN」(1,107.0円)	イリノテカン点滴静注液40mg「NK」(1,107.0円) 2024年7月3日切替済
イリノテカン点滴静注液100mg「SUN」(2,460.0円)	イリノテカン点滴静注液100mg「NK」(2,460.0円) 2024年7月3日切替済
ドレニゾンテープ4μg/cm <sup>2</sup> 7.5cm×10cm (59.4円)	エクラープラスター20μg/cm <sup>2</sup> 7.5cm×10cm (41.5円) 2024年8月2日切替済
コロネル錠500mg (9.60円)	ポリフル錠 500mg (10.40円) 2024年8月9日切替済
コロネル細粒 83.3% (14.80円)	ポリフル細粒83.3% (16.60円) 2024年8月9日切替済

## 3) セフォタックス 1gの限定オーダ開始について

クラフオラン注射用1g (557.0円)	セフォタックス 1g 患者を限定して使用
	クラフオラン注射用1g 2024年7月29日オーダ開始

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用医薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)